

村上委員（ひろしま令和）

令和3年3月11日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）職業教育について

現場で即戦力として活躍することのできる質の高い職業人を育成していくため、高専高校に近い形で専門高校に専攻科の設置を進めていくべきだと思いが、教育長の所見を伺う。

（答）

職業教育につきましては、高度な技術・技能を習得し、社会や地域のニーズに即して、即戦力となりうる実践的な能力を身に付けた人材を育成することが求められているものと認識しております。

広島皆実高等学校衛生看護科及び専攻科におきましては、最短での資格取得を目指しており、5年間の一貫した看護教育を行うことにより、16年連続で全ての生徒が看護師国家試験に合格するなどの実績を挙げております。

一方で、本県の専門高校におきましては、デジタル化に対応した産業教育設備の整備を行うなど、3年間で実践的かつ専門的な資質・能力を身に付ける取組を行うとともに、地域や産業界等と連携しながら、学習プロジェクト等の開発を行い、将来を見据えた人材育成に努めているところでございます。

教育委員会といたしましては、関係機関と連携し、産業界や生徒・保護者のニーズなどを踏まえながら、専門学校や大学への進学、就職など多様な進路を視野に入れ、社会で求められる人材育成に努めてまいりたいと考えております。